

活動情報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290

E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課 果樹係

No. 4 (令和2年7月15日)

新田原果樹部会が3密を避けて担い手講習会を開催！

～果樹の良果多収に向けて貯蔵養分の重要性を再認識～

令和2年6月16日に、JA福岡京築仲津アグリセンターにてJA福岡京築新田原果樹部会（108名）の担い手講習会が開催され、イチジク、モモ、ナシ、キウイフルーツ等の生産者13名が参加しました。

新田原果樹部会では果樹栽培の基礎技術習得のため、例年年4回の担い手講習会を開催しています。ここでは、新規就農者だけでなく、栽培上の疑問点を解明する場としてベテラン生産者も参加をしています。昨年は4月、5月、6月および11月に開催されましたが、今年はコロナ禍の影響で開催が延期され、緊急事態宣言解除後の6月に今年度1回目が開催されました。

テーマは、今年のモモで貯蔵養分不足による開花のばらつきや初期肥大不良が見られたため、「果樹の貯蔵養分と同化養分について」にしました。産地振興のため、次世代の育成に重点的に取り組んでいる部会の要望もあり、今年の新規採用職員の久原技師が講師を務め、活発な意見交換が行われました。また、講習会は会場の密閉、密集、密接を避け、入口における手指のアルコール消毒、マスク着用、体温・体調の自己申告を徹底した上で開催され、新たな講習会の様式の定着に向けての対応を行いました。

新田原果樹部会では、6月下旬からモモの出荷が始まり、イチジク、ナシ、キウイフルーツの出荷が続くため、次回担い手講習会は10月中旬以降に開催される予定です。

普及指導センターでは、今後の担い手講習会を各品目共通の肥料、農薬に関する内容と主力品目であるイチジクのせん定をテーマとし、次代を担う人材の育成とともに果樹産地の底上げを目指していきます。



3密を避けて行われた新田原果樹部会担い手講習会